

仕様書

1 事業名 令和 10 年度 福井県立金津高等学校 第 2 学年修学旅行

2 旅行期日 令和 10 年 12 月 5 日(火)～ 12 月 8 日(金) [3 泊 4 日]

•【出発日】出発予定時刻:午前 7 時 30 分以降(金津高校発)

•【最終日】到着予定時刻:午後 8 時 00 分以前(金津高校着)

3 目的地 沖縄県方面

4 予定人数 合計 231 名(内訳:生徒 216 名[7 クラス]、引率教員 15 名)

※実施時の動向により、多少の増減が生じる場合があります。

5 旅行代金(予算上限)

•生徒 1 人当たり:140,000 円(税込)程度

•代金に含まれるべき内容:

- 航空運賃、現地バス代(各クラス 1 台、計 7 台)、タクシー等交通費
- 宿泊費(3 泊分)、食事代(規定回数分)、クラス別・グループ別体験学習費用
- 那覇空港から 1 泊目ホテルまでの手荷物運搬費用
- 看護師(1 名)、添乗員・現地バス運転手等の人件費・諸経費
- 旅行保険料、航空機保険料など必要な保険料一式

•【重要】契約時の予算(上記上限額)を超える追加請求は原則行わないこと。契約締結後、物価高騰など諸事情の理由で、契約時の予算を超える場合、事前に学校と協議すること。

6 交通手段

- 【航空機】原則として、全行程において全員同一便の利用とする。
- 【現地バス】各クラス 1 台(計 7 台)を配置。行程によりタクシー利用の組み合わせも可とする。

7 研修内容および企画提案への要望 沖縄の歴史、文化、自然環境など、その独自性や多様性を多角的に学ぶことができるプログラム(以下を含む)を提案すること。

•(1) 全体研修: 平和学習、および全員での体験活動(アクティビティ等)

•(2) クラス別・グループ別研修: 以下の 2 点を満たす具体的なプランを提示すること。

○ 令和 8 年度に実施実績のあるプログラムをベースとした具体的な提案。

○ 学びの目的に合わせ、生徒自身が主体的に選択できる多様性のある提案。

•(3) 航空便に関する代替案(リスク管理): 往路便を午前出発で提案する場合であっても、万が一予約不可となり午後出発に変更せざるを得なくなった場合の「代替行程案」および「差額等の対応(減額等)」を併せて提示すること。

•(4) 最終日の行程最適化: 最終日の帰校時刻(午後 8 時 00 分以前)を厳守しつつ、沖縄現地での滞在時間を最大化し、学びを充実させるための具体的な運行プランを提案すること。

8 宿泊施設

•ホテル泊とする(民泊は不可)。

•他校との同時宿泊がないこと(困難な場合は、同フロア宿泊がないよう配慮・確約すること)。

9 安全管理・その他

•【看護師・添乗員】看護師は福井(出発地)から現地、帰校まで 1 名同行させること。添乗員は

現地において各クラスに必ず 1 名（計 7 名）を配置すること。

- 【**食事条件**】 昼食は計 2 回（1 日目、および 2～4 日目のうち 1 回）を含めること。また、帰路（伊丹～福井間）のバス車内で提供する軽食を原案として提示すること。
- 【**安全確保**】 最終日の帰校時、保護者送迎車の誘導、およびバス下車駐車場から校舎（あるいは解散場所）までの生徒の安全を確保するためのスタッフ（誘導員）を独自に配置すること。
- 【**緊急対応**】 災害発生時や急病・怪我等の緊急対応に関するマニュアル（貴社の基本方針）を提示すること。